

COMMUNICATION

Pickup社員



遺品整理士
篠田直美さん



CONTENTS

- ◆ 事業発展計画発表会開催 / 表彰
- ◆ 廃棄物法令レポート / この人に聞く!
- ◆ いきいきサロン参加 / 社員旅行
- ◆ お客様紹介 / トピックス
- ◆ 周南24時間リレーマラソン参加
- ◆ ISOサーベイランス審査 他

第16回 2013年度

中特グループ 事業発展計画発表会開催!

今期のテーマ

人の「わ」
〜和・輪・話〜

サマンサジャパン(株) 代表取締役会長兼 CEO 小野英輔 様



(株)日本政策金融公庫下関支店 支店長 宇野 司 様



(株)山口銀行櫛浜支店 支店長 濱田浩司 様



(株)広島銀行徳山支店 支店長 山藤哲也 様



代表あいさつ

中特グループ代表 吉本 英子



こんにちは。社員の皆さん
元気にしていますか。

早いもので事業発展計画発表会を始めて今期で16回目を迎えました。改めて時の流れの早さに驚いています。またここまで来るにはいろいろなことが山ほどありましたが、今年もこのように盛大に発表会を開くことができました。誠に感謝無量でございます。

これもひとえに、小野会長様のご指導と、日本政策金融

公庫様、山口銀行様並びに広島銀行様の頑張りの後押しがあつてのことと、深く感謝しております。もちろん社員の皆さんを含め、お客様・協力会社様及びグループに関わっているすべての方々に感謝を申し上げます。

私は社員の皆さんを心から愛しています。現場の仕事が多い業種なので、特に、雪が降ったり大雨や台風が来ると、怪我はないだろうか、大丈夫だろうか…いつも心が騒ぎます。本当に心配になります。皆さんいろんな思いはあると思いますが、これが「仕事」です。辛いとか無理だとか思わず、どうか自分の仕事を好きになってください。好きだと思えば知恵も出ますし、きっと、少しは疲れも少なくなるのではないのでしょうか。共に頑張りましょう。

表彰



最優秀賞

改善提案部門
改善提案部門
最多提案賞(個人)



このたびは最優秀部門賞はじめ数々の表彰を頂き、誠に有難うございます。前期は高い目標を掲げ、当初はできるかどうかの不安もありましたが「このメンバーでやり切る」という覚悟で臨みました。今期もまた、前期に増して高い目標を設定しましたが、コツコツコツコツ積み上げていきながら、また笑って期末を迎えられるように、個々の能力を活かしチーム力で取り組んで参ります。

(株)中特ホールディングス
総務部 部長補佐 久保 智

特別賞 永年勤続部門(勤続20年)



この度このような永年勤続表彰を賜りましたことは、誠に感激の極みであり忘れることのできない喜びでございます。この喜びを胸にこれからも会社発展のために一層の努力をして参りますので、今後とも変わりない指導を賜りますようお願い申し上げます。

中国特殊(株) 取締役事業部長 川本 文吾

特別賞 永年勤続部門(勤続20年)



自分が吉本興業に勤めだして気が付けば20年がたちました。当初こんなにも長く勤まるとは思ってもみませんでした。思いがえせば色々な事がありました。頑張ったこともあったからだと思います。これからも頑張っていきます。

(株)吉本興業

環境事業部サービスグループ 岩井 勝己

特別賞 永年勤続部門(勤続20年)



早いもので20年勤めることができました。20年前といえばゴミの種類もさほどなく楽にこなしていたのですが、時代と共に種類も増えリサイクルして新しい商品を作っている時代です。これからも時代と共に対応していく仕事が増えると思いますが、努力していきます。

(株)吉本興業

環境事業部サービスグループ 山田 茂一

特別賞 永年勤続(勤続20年)



早いもので、入社して20年という月日が経ちました。今の会社に入って真面目に勤めたおかげでマイホームも購入出来ました。ローンもこの賞を頂いた今年の8月に終わり大変感謝しています。今後も何か目標を持って業務に役立てていきたいです。

(株)吉本興業

環境事業部リサイクルグループ リーダー 花本 隆

改善提案部門 優秀提案個人賞



昨年のテーマが「共に有る」ということで、会社で共有できるものをテーマに改善を提出させてもらいました。今年も様々な部署の課題を探し、部門を跨ぐような改善テーマを提案したいと思っています。

中国特殊(株)

技術開発部技術開発グループ 山本 勉

S S 部門賞



リサイクル事業部では定期的な地域清掃を始め、花壇の整備などを行っています。S部門賞を頂いたのも、こうした活動を日ごろから行う事により、従業員一人一人が綺麗な工場にしたいという意識で行ってきた結果だと思います。お客様を気持ちよく迎えられるように綺麗な工場を維持していきたいと思っています。

環境事業部サービスグループ 部長 江村 範久

マナー部門賞 笑顔が素晴らしいで賞



このたびはこのような賞をいただき誠にありがとうございます。私達は「明るく元気」をモットーに仕事をしていますが、これをきっかけに会社全体に広がり活気ある会社になっていったらと思います。これからも続けてがんばっていきます。

(株)吉本興業

環境事業部サービスグループ 有田 誠

マナー部門賞 身だしなみが素晴らしいで賞



今回、身だしなみが素晴らしいで賞を受賞する事ができ、日々の積み重ねが重要である事を再認識しました。

(株)リライフ

リサイクル事業部 福田 博子

マナー部門賞 笑顔が素晴らしいで賞



この度は、素晴らしい賞をありがとうございます。今の環境のおかげだと思います。その中でも、ダチヨウの子供たちの存在が大きいです。いつも私を元氣付け支えてくれます。あの子達に、めぐり会えた事に感謝します。

(株)リライフ

リサイクル事業部再資源化グループ 富塚 光世

マナー部門賞 笑顔が素晴らしいで賞



業務等で汚れる事もありますが、来客されるお客様を気持ちよく迎えられる様に清掃を心掛け、また来年も受賞できる様に身だしなみと整理・整頓を心掛けて行きます。

(株)リライフ

リサイクル事業部再資源化グループ 主任 桑原 浩司

マナー部門賞 あいさつが素晴らしいで賞



(株)中特ホールディングス

C S 営業部 C S 営業グループ 横田 朋之



(株)吉本興業

環境事業部サービスグループ 山縣 信一



マナー部門賞 あいさつが素晴らしいで賞



このたびの賞をいただき、とても嬉しく誇りに感じます。そして賞を頂いたことに感謝し、今後も今まで以上に笑顔で元氣よく仕事をして、自分だけでなく周りの人たちが笑顔で元氣な職場になるよう頑張りたいと思います。

中国特殊(株)

エコ事業部 H O S グループ 大工 新生



この度は、素晴らしい賞をありがとうございます。今の環境のおかげだと思います。その中でも、ダチヨウの子供たちの存在が大きいです。いつも私を元氣付け支えてくれます。あの子達に、めぐり会えた事に感謝します。

(株)リライフ

リサイクル事業部再資源化グループ 富塚 光世



(株)吉本興業

環境事業部サービスグループ 大山 剛



(株)中特ホールディングス 総務部総務グループ リーダー 齋本 昌子





「ウキウキ ワクワク 積極的に！」

中特グループ 副代表 橋本ふくみ

みなさん、こんにちは！毎日ご苦
労様です。

早いもので、今年も残すところあと
僅かとなりました。

それにしても、歳を重ねることに
一年一年が早く感じられるのは何故
でしょうか。実はこれ、「ジャーネーの
法則」というそうです。

生涯のある時期における時間の心
理的長さは、年齢の逆数に比例する
(年齢に反比例する)という法則です。
例えば、50歳の人間にとって1年
の長さは人生の50分の1ほどである
が、5歳の人間にとっては5分の1

に相当する。よって、50歳の人間に
とっての10年間は5歳の人間にとっ
ての1年間に当たり、5歳の人間の
1日が50歳の人間の10日に当たるこ
とになる、という理論です。

確かに、子供の頃は1日がたっぷ
りと有意義に感じられたことは、皆
さんも領けるところだと思えます。

子供の頃は経験が少ないことから、
毎日が未知なる世界で冒険のようで
した。新鮮な驚きに満ちていて、そ
の一つ一つの経験が心に蓄積してい
きます。

それが大人になるにつれ、一般的
に新たな経験が減っていき、感動が
少なく単調になり、時が早く過ぎる
ように感じてしまいます。時には、
どうせこうだろうなどと半ば諦めに
も似た境地となり、世の中を分かっ
た風にして理解していき、そして驚
きが減っていくと思うのです。

このように考えてみると、みんな
平等に一度しかない人生ですから、
失敗を恐れず新たななる挑戦をし、そ
こから驚きや感動を得ることこそが、
人生を充実させる唯一の方法ではな
いかと思うのです。

皆さんはどのように感じられます
か。

最後に、私の好きな詩をご紹介します
て、私の挨拶文を終わりたいと思ひ
ます。

「青春」

サミエル・ウルマン

青春とは人生のある期間を言うの
ではなく心の様相を言うのだ。

優れた創造力、逞しき意志、炎ゆ
る情熱、怯懦(きようだ)を却ける勇猛心、安易
を振り捨てる冒険心、こう言う様相
を青春と言うのだ。

年を重ねただけで人は老いない。
理想を失う時に初めて老いがくる。

歳月は皮膚のしわを増すが情熱を
失う時に精神はしぼむ。

苦悶や、狐疑(こぎ)、不安、恐怖、失望、
こう言うものこそ恰(あた)も長年月の如く
人を老いさせ、精気ある魂をも芥(かい)
屑せしめてしまう。

年は七十であろうと十六であらう
と、その胸中に抱き得るものは何か。

曰く「驚異への愛慕心」空にひら
めく星晨、その輝きにも似たる事物
や思想の対する歓迎(きんぎよう)、事に處する剛
毅な挑戦、小児の如く求めて止まぬ
探求心、人生への歓喜と興味。

人は信念と共に若く

人は自信と共に若く

希望ある限り若く

疑惑と共に老ゆる

恐怖と共に老ゆる

失望と共に老朽ちる

大地より、神より、人より、美と喜悅、

勇氣と壮大、偉力と靈感を受ける限
り人の若さは失われない。

これらの靈感が絶え、悲歎(ひたん)の白雪
が人の心の奥までも蔽(おほ)いつくし、皮
肉の厚氷がこれを固くとぎすに至れ
ばこの時にこそ人は全くに老いて神
の憐れみを乞う他はなくなる。

ポータルハートサービス いいききサロン参加



いいききサロンとは、一人暮らしのお年寄りなど、家に閉じこもりがち、話し相手がいない、寂しいといった不安や悩みをおもちの方々に、自治会館や公民館などの身近な場所に集まっていたいて、「気軽に」「無理なく」「楽しく」過ごせる場を作ろうと、会食・健康体操・レクリエーションなど、ボランティアの自由な発想で企画し自主的に運営している地域の「仲間づくり」「出会いづくり」の場です。



参加者にとって孤立・閉じこもりの防止や気軽に付き合える仲間ができた、そして同じ高齢者や地域のボランティアと関わることで情報交換の場となり、福祉をはじめとする暮らしに役立つ情報が直接手に入ったりということがいっぱい。

地域社会にとっては、地域交流・異世代交流の拠点となり、生活上の困りごと・心配ごとが発見でき、地域全体の問題として取り組むきっかけにもな



ります。
そしてサ
ロンの推
進者であ
る民生委
員・福祉
員・児童
委員・保健師など小地域福祉活動のキー
パーソン同士がサロンを通じて連携する
ことで、小地域での見守りネットワーク
が広がります。
中特グループでは、もやいネット事業
に参加させていただいており、社会福祉
協議会で行われた調印式後、見守りを強
化しています。そこでポータルハート



サービスでも何かできないかと考え、我社の自慢である「元気」と「笑顔」をお届けしようと、いいききサロンへ参加させていただくことになりました。

9月6日に小畑公民館で行われた敬老会では、社員の特技ジャグリング披露や分別ゲームなど大いに盛り上がりま

した。
市内のいいききサロンは全175カ所
で実施されています。すべてのサロンに
参加させていただくことを目標に新しい
ネタを考案中です。

(株)吉本興業

環境事業部サービスグループ

篠田 直美

Event participation

周南 24 時間リレーマラソン参加



7年振りにトライ

今からちょうど10年前の2004年9月に周南24時間リレーマラソンが初開催されました。その年に「徳山市・新南陽市・鹿野町・熊毛町」の2市2町が合併して周南市が誕生し、それから早いもので10周年を迎えています。

私は、第1回大会と翌年第2回大会にランナーとして参加しました。その当時は32歳で体力にもまだまだ自信があり率先してエントリーしたことを覚えています。

さて、当日正午にスタート。しばらくは選手達みなテントの中で笑みや冗談も飛び交い和やかなムードの中でしたが、時間が経過し、夜が更けるのと同時に、徐々に沈黙に変わる…。「深夜0時から朝6時」までは睡魔と疲労との闘いで、24時間のなかでも一番過酷な時間帯です。やっと日の出を迎え、残り6時間を切ると、後はゴールの正午までは気力で乗り切りどうにかこうにか完走です。

24時間の中に様々なドラマが生まれます。中特グループサポーターや選手同士が応援し合い、励まし合い、底い合い、思いやり、信頼し合い…とチーム「中特」が一つになります。人として大切なことを気付かされる時間でもあるような気がします。マラソンも人生と同じとよく言われます。苦しければ何時でも歩くことも立ち止まることも自分自身でできます。自分「自身」に強く成ることを教えられる。

この大会も周南市同様10周年目を迎え、また中特グループも10年連続のエントリーとなり、今ではグループの大きな年間行事の一つになっています。今後も周南24時間リレーマラソンが続く限り、当グループも参加し続けます。

最後になりましたが、大会主催者様、関係スタッフの皆様方には今年も大変お世話になり、素晴らしいメモリアルな大会となったことを深く深く感謝いたします。

中国特殊(株) 取締役事業部長

川本 文吾



『廃棄物法令レポート』

Report

今号も、「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」のよくある運用ミスについて解説します。

今回取り上げるのは、マニフェストの「数量」欄の記載についてです。産業廃棄物を回収する際、排出事業者が交付したマニフェストを産業廃棄物と一緒に受け取っていることと思います。

その際、回収場所では産業廃棄物の正確な重量を計測できないため、マニフェストの「数量」欄は空欄のままでしょうか？

もしそうなら、排出事業者（委託者）のマニフェストの運用義務違反となります。

その理由は、廃棄物処理法施行規則第8条の20で、

「（マニフェストは）産業廃棄物の種類、数量及び受託者の氏名又は名称が管理票に記載された事項と相違

がないことを確認の上、交付すること。」とされているためです。

廃棄物の正確な重量がわからないからといって、「マニフェストをテキトーに運用して良い」という理由にはなりません。

中特グループで働く皆さんは、産業廃棄物処理のプロフェッショナルですので、お客様である排出事業者が法律違反をしないように、正しい運用方法をアドバイスする必要があります。

特に、お客様のところを直接訪問する営業やドライバーの方には、マニフェストの正確な知識は必須と言えます。

では、このようなケースでは、お客様に対してどのようにアドバイスするべきなのでしょう？

色々な方法が考えられますが、最終的な目標は、お客様自身に正しい

運用方法を身につけていただくことです。

そのため、何も言わずにドライバーがマニフェストに数量を追記するのではなく、現状の問題点と改善方法をできるだけソフトにお客様にお伝えすると良いと思います。

例えば、

「『数量』欄に記載すべき内容は、廃棄物の『数量』であって、『重量』ではありませんので、産業廃棄物の量を把握できる単位（ドラム缶3本とか、8立方メートルコンテナ1台分とか）でカウントをして、それを数量欄に記載してください（あるいは「追記しておきます」と、アドバイスすると良いでしょう。

また、「廃棄物の正確な重量は、後日、D票などと一緒に中間処理業者から返送しますので、それをマニフェストと一緒に保存しておけば大丈夫です。」と付け足すと、お客様にはさらに安心していただけるでしょう。



行政書士エース環境法務事務所代表
行政書士 尾上雅典先生

中特グループ法務顧問。許認可申請の代行といった単なる行政書士業務に止まらず、廃棄物処理企業の経営基盤確立のため、従業員教育、法務相談など、廃棄物処理企業に特化したサービスを提供されている。

その他、業界誌への寄稿、排出事業者向けのセミナー・講演、廃棄物管理状況の監査など、廃棄物処理企業以外に関係者にも廃棄物の適切な処理を進めていただくべく、精力的に啓発・教育活動も展開中。

この人に聞く！

中特グループを長く支えてくださっているベテラン社員さんを紹介するコーナー「この人に聞く！」の第二弾です。

内山 富人さん



第二回は、(株)吉本興業リサイクルグループ・内山富人さんにインタビューしました。内山さんは中国特殊(株)に入社された後、グループ内の全ての作業を経験されてきました。

Q1. 入社されて何年ですか？

だいたい25年ぐらいになるかな。
40代での転職でした(笑)



Q2. 入社したきっかけは？

前職の将来性を考えている時に知人に紹介してもらったのがきっかけです。

営業職よりは体を使ってする仕事のほうが自分には向いていると思ったので「丁度いい！」と感じて面接を受けた所、会社の雰囲気がとても良かったのと先代社長(吉本文男さん)の人格に惹かれました。(遠くを見ながら懐かしむ…)

Q3. いろいろな部署を経験されて今思うことは？

中国特殊(株)eクリーンに入社した頃は、下水管の補修作業が多く大きい仕事の下請・孫請で毎日が下水管との戦いでした(笑) 冬場の長期県外への出張が多く、今思えば家族には寂しい思いをさせたなあ…。今では設備・技術が備わって受注から完成まで自社で対応できるようになりました。

振り返ってみるとすごく充実した時間を過ごさせていただきました。

(株)吉本興業は今までeクリーンでしてきた仕事とは全く違う作業で毎日収集してきた物を的確に捌く事が求められるので時間との戦いでした。リサイクルしようと思えば最終的には人間の手間暇がかかると知りました。自治会長になった時

に住民に説明する際に自分なりにまた勉強して分別の必要性などを細かく指導・説明する事ができました。この仕事に携わっていなければリサイクルに対しても関心が薄かったと思います。

Q4. 今までで一番印象に残った作業は？

阪神淡路大震災の時に広島で現場で下水に潜っていた時に、すぐ安全確保の為、作業を中断しました。その後は余震を心配しながらの作業で何度もテレビで確認しながら安全第一で作業を進めました。あの時は、テレビを観るたびに被害が拡大していき忘れない光景でした。



Q5. 今から何をしたいですか？

もともと、米作りはやっていましたが、60歳を過ぎてから父親が残した畑で自分たちが食べる野菜を作ることが何よりも楽しみです。知人に栽培方法を聞いたり、本を4～5冊買って独学で勉強のおかげで今では無農薬で美味しい野菜ができるようになりました。息子や近所の人にも喜んでもらっています。JAにも野菜を出しているのぜひ皆さん買ってください！(笑顔)

野菜作りの話をしている内山さんはとてもイキイキとされていました。

ここで名言が出ましたので紹介させていただきます。

「田んぼの肥やしは人の足音」・・・本で読まれて本当にそうだなと実感されたそうです。

「畑は虫との戦い」・・・愛情をかけないと美味しい野菜は作れないということです。

Q6. 最後に後輩たちへ一言どうぞ

とにかく、安全第一！人任せではいけません。慣れが一番怖いので気を抜かず、決められた手順を守る事が大切です。

今まで勤めてきて大きい事故もなく作業できたのも皆が基本に忠実にやってきたからだだと思います。感謝です！！

(インタビュー：(株)中特ホールディングス 総務部総務グループ 鶴本・坂本)



(株)藤井興業 アメニティチーム
山川 裕大

終わってみるとあっという間で、知らないうちに汗もかいていました。その汗がとても心地よかったです。

擦っても擦っても汚れが落ちないのでそれがさらに刺激になり、やる気と集中力が増していきました。

ここ最近では自分でも見たこともないくらいの集中力で、ひたすら一心に擦っていたと思います。

しかし、いざやってみると一切そんなことを思わなくなりました。

最初は正直トイレを素手で掃除するという事に抵抗がありました。家でトイレを掃除するのですが、やはり汚い所というイメージです。

周南掃除に学ぶ会に参加して

10月26日に、徳山小学校にて行われた周南掃除に学ぶ会に参加しました。最初は正直トイレを素手で掃除するという事に抵抗がありました。家でトイレを掃除するのですが、やはり汚い所というイメージです。

Visitor Introduction

～ お客様紹介 ～

出光興産株式会社 徳山製油所・徳山工場様



出光興産（株）は、現在、全国4ヶ所（北海道、千葉、愛知、徳山）に製油所・工場を配し、石油精製、石油化学製品の製造及びその販売を通じ、皆様へのエネルギーの安定供給に努めております。

徳山製油所は、出光最初の製油所として1957年に操業を開始しました。また、製油所に隣接する徳山工場は、1964年からコンビナート各社へのエチレン供給を開始しています。

出光徳山（徳山製油所・徳山工場）は、2014年4月に「製油所における原油処理停止」、「製油所及び工場の事業所統合」という、2つの大きな変化とともに生まれ変わります。

今後も周南コンビナートの中核企業として、一層の競争力強化に努めるとともに、安全操業、安定供給の責任を果たしていきます。

出光興産（株） 徳山製油所 / 徳山工場 安全環境室

出光興産（株）徳山製油所 / 徳山工場 安全環境室の小柳卓と申します。

私は、弊社の環境担当者となり2年目ですが、弊社と中特グループ様とは以前からお取引させて頂いており、私も担当者となった当時からお世話になっております。

特に、弊社では廃棄物の埋立量削減を目標に掲げ毎年活動に取り組んでおり、中特グループ様には様々な

産業廃棄物の処分について、ご相談をさせて頂きご協力頂いております。2014年4月以降、弊社では事業所統合など、大きな変化を予定しておりますが、中特グループの皆様にもご協力を頂きながら、エネルギー、化学製品等の安定・安全供給を通じて、社会貢献できるように努めていきたいと思っております。これからもよろしくお願い致します。

活動報告

Topic

詰まりでお困りの方、24時間対応します!!

5月1日より中国特殊(株)で、トイレ・排水管の詰まり解消24時間対応を開始しました。休日にトイレや排水管が詰まってしまうどこに電話すれば対応してもらえるのか分からない…。そんな時にはポータルハートデスクへお電話下さい。休日や営業時間外にお電話された場合でもガイダンス



が流れますので、お急ぎの場合は担当へ電話をおつなぎして対応させていただきます。お困りの際はぜひポータルハートデスクへお電話下さい。



下松市笠戸島はなぐり海岸で清掃活動を実施しました

6月1日、(株)リライフ主催で下松市笠戸島はなぐり海岸の清掃活動を初めて実施しました。

当日はあいにく小雨の降る中でしたが精一杯清掃活動を行いました。海岸にあるゴミや流れ着いた海藻等を回収しました。清掃前と清掃後では見違えるようにきれいになりました。



優良永年従事者として表彰されました!

5月29日山口グランドホテルで開催された一般社団法人山口県産業廃棄物協会会長表彰式にて、(株)吉本興業リサイクルグループの花本隆社員が優良永年従事者

として表彰されました。

〈花本社員のコメント〉

今回、表彰を頂けるとは思ってもみなかったので、大変驚いています。

勤続20年になりますが、私が今まで頑張ってきたのは、良き社長・上司・仲間恵ま

れていたからです。私がいまでも一番

気を付けていることは廃棄物を処理するにあたっての

「コンプライアンスの遵守」です。このことを怠るとすべてが台無しになるので、今後もこの姿勢だけは貫いていきたいです。まだまだ知識不足な所も

多々ありますが、皆と協力して乗り越えていきたいです。今回の表彰有難うございました。

(株)吉本興業 環境事業部

リサイクルグループ 花本 隆



第7回 Happy/Happy/勉強会を開催しました

6月13日に下松市地域交流センターにて「第7回 Happy/Happy/勉強会」を開催しました。

講師にアマチュア落語会で活躍されているドウ・サクセス

(有)代表取締役 藤谷健(勘米)氏をお迎えして演題「落語に学ぶリーダーシップ」を聴かせていただきました。

落語を取り入れながらのお話の中で、リーダーシップの条件やお客様に想像力を持ってもらい感動してもらうことの大切さ、相手とのコミュニケーションをとるコツなどを教えていただき、大変楽しい講演会でした。



（株）吉本興業で消火訓練を実施しました

6月27日に

（株）吉本興業で
火災発生時の
消火訓練を実
施しました。

火災が起
こった際の対
応手順の確認
をした後、実
際に消火器を
使って訓練を行いました。



万が一の火災の際にも、周囲の安全を第一に考え落ち着いた行動が出来るよう今後も訓練を重ねていきます。

パッカー車での火災は全国的に起こっています。不・可燃物ゴミに電池やスプレー缶が混入することが発火原因と考えられています。ゴミの正しい分別にご協力をよろしく願います！

**リーダー研修会を行いました**

7月13日

に下松市の
国民宿舎大
城にて中特
グループ・
リーダー研
修会を開催
しました。

当グルー
プは8月よ
り2013

年度のスタートとなりますが、中期ビジョンや来期に向けてのグループ経営目標が発表され、各部門が取り組むべき課題や目標を真剣に話し合いました。

**断捨離キャンペーンを実施しました**

（株）吉本興業で7月31日までの期間限定

で『断捨離キャンペーン』を実施しました。断捨離とは、捨てることで物への執着から開放され身軽で快適な人生を手に入れようという考え方です。7月31日までに（株）吉本興業で不用品の処分を行うと、Tポイントを通常の3倍付与させていただきます。キャンペーン終了後もお見積りを無料で行っております。思い切って不用品を処分して身の回りも心もすっきりしてみませんか？

捨てる！変わる！トキメク！

中特グループで
断捨離 [ダンシャリ] しませんか？

Let's

不用品処分のご依頼はポータルハートデスクへどうぞ！無料でお見積りいたします！

ポータルハートデスク
0120-105-568
http://www.portahartdesk.com/

T-POINT
7/31まで
ポイント3倍
キャンペーン中！

第40回徳山夏祭りに参加しました

7月27日に第40回徳山夏祭りが開催され、昨年同様吉本興業が「ゴミ分別案

内」と「ゴミ拾いの奉仕活動」で参加しました。ジュース・生ビール・カキ氷の販売も行い、今年はビール容器をジョッキグラスにして返却いただいた方には10円還元！ゴミの削減に努めました。

**徳山港海底清掃ボランティアに参加しました**

8月10日に行われた徳山港海底清掃ボランティアに当グループ社員も参加しました。海岸のゴミ拾いや、ダイバーさ



んが潜って見つけたゴミの引き上げ作業をしました。タイヤやロープ、鉄柱や金庫なども海底から引き上げました。

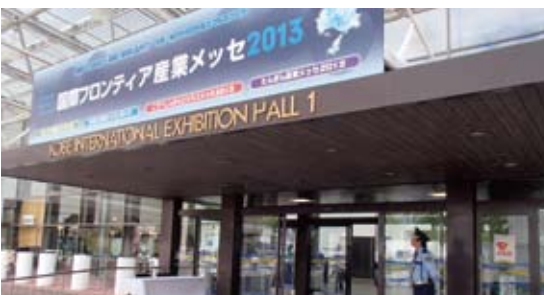


「国際フロンティア産業メッセ2013」に参加しました

9月5日・6日に兵庫県の神戸国際

展示場で開催された「国際フロンティア産業メッセ2013」に(株)リライフが参加しました。

当展示会



や環境への負荷を考慮した技術や製品等を開発する企業・大学・研究機関等が出展する、西日本最大規模の総合展示会です。

約300の
出展ブースがあり、リライフは環境・エネルギー部門で出展し、汚泥の篩分け混合処理や脱塩処理を広くアピールしました。



第10回周南24時間リレーマラソンで「カーボン・オフセット」に取り組みました

9月28日・29日に開催された「第10回周南24時間リレーマラソン」で「yamaguchi」において、大会で排出される二酸化炭素(CO₂)等の温室効果ガスを相殺する「カーボン・オフセット」に取り組みました。

「カーボン・オフセット」とは、地球温暖化の原因といわれるCO₂を削減するため、日常生活や経済活動などにおいて排出されるCO₂について、排出量に見合った他のCO₂削減活動に投資することにより排出されるCO₂を埋め合わせるというものです。

今回のリレーマラソンでは、下松市の星プラザにおける照明設備の更新による省エネ事業から創出した排出権を購入してオフセットしました。

オフセットする対象は、会場電力使用量や参加者・関係者の日常生活におけるCO₂排出量の一部で、13,000kg分のCO₂を削減しました。

当グループは過去すべての大会へ出場しており、環境にやさしいクリーンな大会を目指すとともに、地域貢献活動の一環として今回初めて取り組むことにしたものです。



中特グループでは、「快適環境創造企業」として、今後も環境保護に関する地域貢献活動にも積極的に取り組んで参ります。

不法投棄廃棄物回収ボランティア活動に参加しました

10月10日に
光市のコバルトライン（市民の森）で開催された山口県産業廃棄物



協会周南支部による不法投棄廃棄物回収ボランティア活動に中特グループ社員も参加しました。残念ながらですがタイヤなど様々なものが投棄されており、勾配のきつい山中にて作業を行ないました。美しい自然と住みよい生活環境を守るために、廃棄物の適正処理に皆さまのご協力をお願いします。



ISOサーベイランス審査

平成25年7月8日（月）、9日（火）の日程で、二年次のサーベイランス審査が行われました。

初日は、オープニングミーティングに続き、トップマネジメントインタビュー及び環境管理責任者、主任内部監査員、事務局を中心にマネジメントシステムの有効性と規格に対する適合性が審査され、2日目は、現場部署でのEMSの確立、実施、有効性、管理状況の審査、並びに環境所前施設の管理状況審査などが行われました。

その結果、修正及び是正処置を要するような指摘はなく、改善検討することが望ましい事項が3項目報告されました。

審査に基づき8月21日に行われた評価判定委員会において認証継続が決定されました。

審査所見

環境マネジメントシステムの仕組みの改善や自主向上項目の達成に向けての活動を評価されました。

事業活動と連動した汚泥受入量の拡大、汚泥再資源化量の拡大等々、事業発展と環境保全の両立を目指した取組の強化と、ステークホルダーに対するコミュニケーション活動の充実について評価されると共に、

今後の更なる活動を期待されました。

改善検討の余地

①緊急事態の環境影響評価方法について、発生した緊急事態に対応して環境影響評価手順までフィードバックし反映改善すると管理レベル向上

②向上が限界に近くなり維持管理と判断した著しい環境側面に関して、現在実施しているデータ管理基準に加えて、PDCAを回すための運用基準も追加すると更なる管理レベル向上

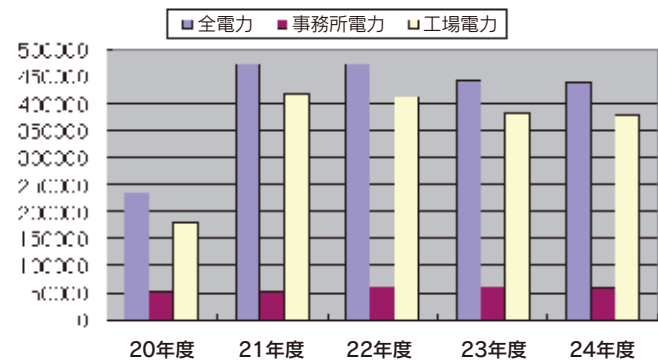
③内部監査時の不適合に対し原因を追究し是正処置を実施しているが、次のステップとして予定している有効性レビューに関して実施予定日を明確にして取組むと管理レベル向上

中特グループのEMS認証継続は11年に亘りますがまだまだ改善すべき課題が多く、従業員一同一致団結し更なる改善向上に努めていきます。

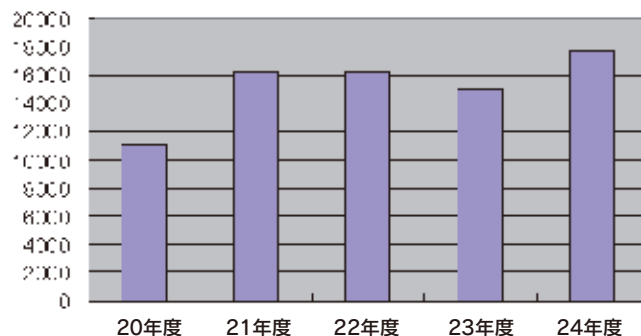
(株)中特ホールディングス

環境安全推進室 室長 遠藤 清治

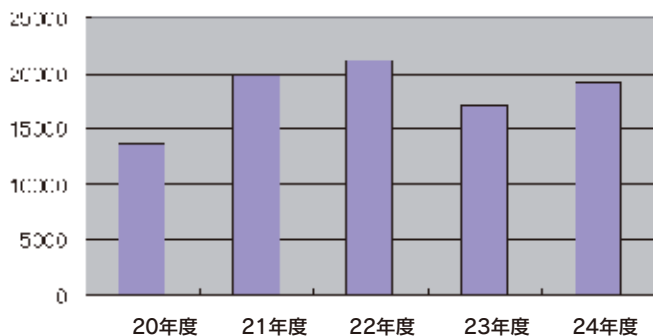
電力使用量kwh(漸減傾向)



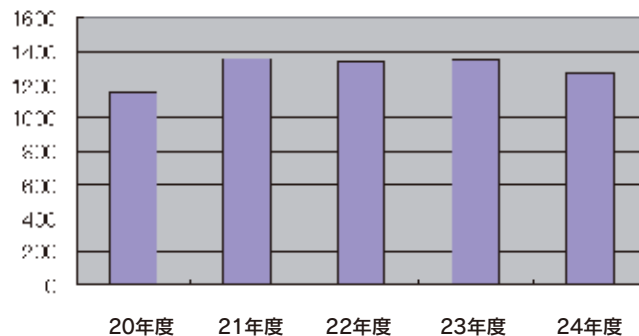
汚泥再資源化量t



汚泥受入量t



一般廃棄物再資源化量t



社員の趣味

私の趣味はガーデニングです。始めたきっかけは、子供が幼稚園から帰って帰ってきた草花のパンジーと一緒に育てることから始まりました。それまでは花に興味はなく、育て



ているうちに手を掛ければかけるほど期待以上に花を咲かせてくれて、子供と一緒に育てる感動を味わいました。そこから園芸店に足を運ぶことが多くなり、我が家に植物が次々と増えてきました。その中でも特に魅了されたのがバラです。バラの品種は豊富であることから、購入するときには専門店にうかがい



我が家に応じたバラの選定をお願いしました。「ソニアリキエル」という名前の四季咲き性で、ほぼ一年中鑑賞できる品種で

す。花色はソフトピンクの中心部が特に濃ピンクとなっています。早朝に強香を増すため、目覚めに窓を開けるとフルーツの香りが部屋に入ってきます。植え付けから5年以上経っていますが優美に庭を彩ってくれてとても重宝しています。現在では、植物を育てるだけでなく、エクステリアを加えながら、家族とともに楽しくくつろげる庭作りを試行錯誤している毎日です。

中国特殊(株)

エコ事業部 HOSグループ

リーダー 大山 隆



3R3R3R...

皆さん「リクチュール」という言葉をご存じですか？これは使わなくなった古着や端材や残反、故繊維などの素材を使用し、リペア・リフォーム・リメイクの3Rをファッションクリエイターたちの手により、クオリティーの高い製品作りに活かしていく活動です。リサイクルとクチュール（仕立て・縫製）が融合した言葉です。

よく考えてみると、洋服は昔から行っていた一番身近なリサイクルかもしれません。次女である私はよく姉のお下がりを着ていたし、洋服が得意な母は、小さくなった洋服を違うデザインにリフォームしていた記憶があります。

一部のオシャレな方たちの間では、ヴィンテージデニムが驚く程高い金額で売られていたりしますが、最近では安価で様々なデザインの洋服が出回る様になった為、そのままタンスにしまいこんでいるなんて事が多いのではないのでしょうか。日本の衣料におけるリサイクル回収率は22%と他の国に比べると大変低く、リサイクルせずに焼却してしまうと東京ドーム683個分のCO2が排出されるそうです。なんとも想像もつかない程の数値ですが、環境にやさしくないというのは理解できます。

地球の環境保護の為に多少サイズが合わない洋服も買い替えてはなく、リクチュールするか、又は洋服に身体を合わせる努力をした方がよいかもしれません。そもそも、自身の健康の為に...

(株)吉本興業 代表取締役 吉本妙子

編集後記

記録的な猛暑と経験のない豪雨に見舞われた今夏が嘘であったかのように、あっという間に秋も過ぎ去り、まもなく年の瀬です。一年の経過は本当に早いですね。皆さんにとってのこの一年はいかがでしたか？

さて、先日「いきいきサロン」に参加してきました。参加と言っても芸の無い私は「カメラ係」なのですが...ジャグリングやごみの分別ゲームで会場を盛り上げる社員の姿を見て、一人ひとりがキラキラと輝いていて、個性って本当に素晴らしいなと心底思いました。事業発展計画発表会で紹介されたことは、「同じ性格の人たちが一致団結してもその形は和の形でしか増やせない。異なる性格の人たちが団結すれば積の形で大きくなる。」という西堀栄三郎さんの言葉を思い出しました。部署を越えて一つのことを成し得る、これこそが今期のテーマ「人の『わ』と和・輪・話」そのものだなと思いました。日々の業務の中でも、今期は「異」の結果で大きな力となり、厳しい時代を乗り越えたいものです。

これから益々寒くなりインフルエンザも流行する時期になります。体調管理を十分に、元気に冬を乗り切っていきましょう！（久保）

